



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社 翻訳センター 上場取引所 東  
コード番号 2483 URL <https://www.honyakuctr.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 俊一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括 (氏名) 魚谷 昌司 TEL 06-6282-5013  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	8,298	△0.2	570	△1.4	580	△2.8	418	4.6
2024年3月期第3四半期	8,323	3.2	578	△6.9	597	△4.7	400	△4.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 366百万円 (△11.5%) 2024年3月期第3四半期 414百万円 (△7.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	125.11	—
2024年3月期第3四半期	119.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	8,118	6,414	79.0
2024年3月期	8,326	6,250	75.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 6,414百万円 2024年3月期 6,250百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期（予想）				75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,100	7.0	1,050	16.3	1,080	15.0	720	1.2	215.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	3,369,000株	2024年3月期	3,369,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	18,822株	2024年3月期	25,522株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	3,346,828株	2024年3月期3Q	3,340,128株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(会計方針の変更に関する注記) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	6
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が一層進むなか、雇用・所得環境の改善や企業の設備投資意欲の高まりを背景に緩やかな回復基調にあるものの、国際的な情勢不安の長期化に伴う原材料・エネルギー価格の高騰、為替変動による影響や世界的な金融引き締め政策の継続など、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは今期を最終年度とする3ヵ年の中期経営計画に基づき、当社グループの中核をなす翻訳事業の持続的成長を目指すとともに翻訳支援ツールや機械翻訳など最先端技術の積極的な活用を推し進め、企業のグローバル展開に伴う翻訳・通訳需要の獲得に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、通訳事業が継続伸長したものの、コアビジネスである翻訳事業が前年同期並みの水準で推移したこととコンベンション事業縮小に伴う減収により、売上高は前年同期比0.2%減の8,298百万円となりました。利益面につきましては、売上高が前年同期を下回ったことから人件費を主とする販売費及び一般管理費の増加を吸収できず、営業利益は前年同期比1.4%減の570百万円、経常利益は持分法による投資利益の減少等により前年同期比2.8%減の580百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は子会社株式売却益の計上により前年同期比4.6%増の418百万円となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして開示しておりました「コンベンション事業」は、量的な重要性が低下したため、報告セグメントから除外し「その他」として記載する方法に変更しております。また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

#### ① 翻訳事業

特許分野では企業の知的財産関連部署の一部大口顧客において受注が減少したものの、特許事務所からの受注は好調を維持し、売上高は前年同期比2.2%増の2,207百万円となりました。

医薬分野では需要獲得に向け、顧客企業との継続的な関係性の構築と顧客基盤の拡大に努めるなか、外資製薬における受注の落ち込みを内資製薬やCRO（医薬品開発受託機関）からの受注増加が補い、売上高は前年同期比1.8%増の1,904百万円となりました。

工業・ローカライゼーション分野では自動車や電機をはじめとする顧客からの受注増加に加え、エネルギー関連企業から大型案件を獲得するなど、製造業からの受注は好調に推移したものの、非製造業からの受注が低調に推移し、売上高は前年同期比2.3%減の1,614百万円となりました。

金融・法務分野では上場会社の英文開示に対する機運の高まりからIR関連文書の受注が好調に推移したことに加え、企業の管理系部署からの受注も伸長し、売上高は前年同期比6.9%増の480百万円となりました。

これらの結果、翻訳事業の売上高は前年同期比1.2%増の6,207百万円となりました。

#### ② 派遣事業

派遣事業においては、語学スキルの高い人材への底堅い需要により常用雇用者数は前年同期並みの水準で推移したものの、人材紹介による紹介手数料の減少により、売上高は前年同期比ほぼ横ばいの895百万円となりました。

#### ③ 通訳事業

通訳事業においては、既存顧客である金融機関、医薬品関連会社、精密・通信機器メーカー、外資系コンサルティング会社からの継続受注に加え、顧客数の拡大が寄与し、売上高は前年同期比13.3%増の935百万円となり、当第3四半期連結累計期間における過去最高の売上高を更新しました。

#### ④ その他

その他のセグメントにおいては、通訳者・翻訳者養成スクール「アイ・エス・エス・インスティテュート」の集客が好調に推移したものの、コンベンション事業縮小に伴う減収と外国への特許出願に伴う明細書の作成や出願手続きを行う株式会社FIPASの低調が影響し、売上高は前年同期比44.3%減の260百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,945百万円となり、前連結会計年度末に比べ344百万円減少いたしました。これは主に翻訳事業の代金回収により、受取手形及び売掛金が減少しているためであります。固定資産は1,173百万円となり、前連結会計年度末に比べ136百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は8,118百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,466百万円となり、前連結会計年度末に比べ386百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金及び未払法人税等が減少したことによるものであります。固定負債は237百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,704百万円となり、前連結会計年度末に比べ370百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ163百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当を実施したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、2024年5月13日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,691,074	4,633,488
受取手形及び売掛金 (純額)	※ 2,292,548	※ 1,891,014
仕掛品	154,713	218,955
その他	151,278	201,824
流動資産合計	7,289,616	6,945,283
固定資産		
有形固定資産	59,412	55,637
無形固定資産		
のれん	69,366	57,125
その他	30,274	25,260
無形固定資産合計	99,640	82,386
投資その他の資産	※ 877,752	※ 1,035,680
固定資産合計	1,036,806	1,173,704
資産合計	8,326,422	8,118,987
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	841,584	731,677
未払法人税等	213,290	58,572
返金負債	3,097	2,194
賞与引当金	287,010	169,506
その他	508,579	504,991
流動負債合計	1,853,562	1,466,942
固定負債		
役員退職慰労引当金	11,408	11,408
退職給付に係る負債	210,477	226,144
固定負債合計	221,885	237,552
負債合計	2,075,448	1,704,494
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	588,443	588,443
資本剰余金	478,823	478,823
利益剰余金	5,199,430	5,398,204
自己株式	△62,785	△46,303
株主資本合計	6,203,911	6,419,167
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	52,319	—
退職給付に係る調整累計額	△5,256	△4,674
その他の包括利益累計額合計	47,062	△4,674
純資産合計	6,250,974	6,414,492
負債純資産合計	8,326,422	8,118,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	8,323,013	8,298,833
売上原価	4,442,030	4,376,896
売上総利益	3,880,982	3,921,937
販売費及び一般管理費	3,302,316	3,351,556
営業利益	578,666	570,380
営業外収益		
持分法による投資利益	26,869	14,273
その他	1,385	1,443
営業外収益合計	28,254	15,717
営業外費用		
為替差損	9,135	5,692
その他	72	1
営業外費用合計	9,208	5,693
経常利益	597,713	580,404
特別利益		
子会社株式売却益	—	37,384
特別利益合計	—	37,384
特別損失		
固定資産除却損	2,040	491
特別損失合計	2,040	491
税金等調整前四半期純利益	595,672	617,297
法人税等	195,502	198,570
四半期純利益	400,170	418,726
親会社株主に帰属する四半期純利益	400,170	418,726

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
四半期純利益	400,170	418,726
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	14,323	△52,319
退職給付に係る調整額	407	581
その他の包括利益合計	14,730	△51,737
四半期包括利益	414,900	366,989
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	414,900	366,989
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過措置及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項（2）ただし書きに定める経過措置に従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

※ 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 （2024年3月31日）	当第3四半期連結会計期間 （2024年12月31日）
流動資産	733千円	656千円
投資その他の資産	2,160	422



（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
減価償却費	18,988千円	15,342千円
のれんの償却額	8,160	12,241

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 （注）	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	計		
売上高						
翻訳						
特許	2,159,592	—	—	2,159,592	—	2,159,592
医薬	1,870,520	—	—	1,870,520	—	1,870,520
工業・ローカラ イゼーション	1,652,992	—	—	1,652,992	—	1,652,992
金融・法務	449,519	—	—	449,519	—	449,519
人材派遣	—	896,449	—	896,449	—	896,449
通訳	—	—	825,120	825,120	—	825,120
その他	—	—	—	—	468,818	468,818
顧客との契約から 生じる収益	6,132,625	896,449	825,120	7,854,195	468,818	8,323,013
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	6,132,625	896,449	825,120	7,854,195	468,818	8,323,013
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	26,307	4,786	838	31,932	1,556	33,489
計	6,158,932	901,236	825,958	7,886,128	470,374	8,356,502
セグメント利益又は 損失（△）	587,500	39,518	72,463	699,482	△123,519	575,962

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	699,482
「その他」の区分の利益	△123,519
セグメント間取引消去	2,703
四半期連結損益計算書の営業利益	578,666

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	翻訳事業	派遣事業	通訳事業	計		
売上高						
翻訳						
特許	2,207,358	—	—	2,207,358	—	2,207,358
医薬	1,904,685	—	—	1,904,685	—	1,904,685
工業・ローカラ イゼーション	1,614,256	—	—	1,614,256	—	1,614,256
金融・法務	480,830	—	—	480,830	—	480,830
人材派遣	—	895,781	—	895,781	—	895,781
通訳	—	—	935,056	935,056	—	935,056
その他	—	—	—	—	260,862	260,862
顧客との契約から 生じる収益	6,207,131	895,781	935,056	8,037,970	260,862	8,298,833
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上 高	6,207,131	895,781	935,056	8,037,970	260,862	8,298,833
セグメント間の内部 売上高又は振替 高	21,786	4,322	268	26,377	643	27,021
計	6,228,918	900,104	935,325	8,064,348	261,506	8,325,854
セグメント利益又は 損失(△)	470,937	75,355	129,097	675,390	△108,195	567,194

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国出願支援事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	675,390
「その他」の区分の利益	△108,195
セグメント間取引消去	3,185
四半期連結損益計算書の営業利益	570,380

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとして開示しておりました「コンベンション事業」は、量的な重要性が低下したため、報告セグメントから除外し、「その他」として記載する方法に変更しております。

また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。